

(ア) 5月頃から喀痰・喀出の困難が目立ち、午前中ベットで過ごす日が多くなり、余暇時間のすごし方、即ち生活制限からテレビ・写真ぐらいの生活内容に限られてきた。

(イ) 友人がなく、いつも精神的な孤立状態にいる。

(ウ) 性的な雑誌・テレビを見たがる。(マンガ・テレビ・写真などで、文章化された雑誌は見たがない。

(エ) 食事・睡眠を気ままにしたがり、集団としての作業・訓練・入浴・行事など、徐々にいやがる。

④実践と考察

(ア) 規律正しい生活をめあてに、本児と日課表を作成する。

(イ) 日課表に従って病棟職員の一貫した指導を徹底した。

(ウ) 行事・コンサートなどの集団活動には約束として参加させた。

(エ) 無理に性的描写を遠ざけるのではなく、余暇利用の方法に併せて、他のことに関心をむけさせようとした。

このような問題解決の糸口を焦点化して実践を進めてきて、徐々にではあるが、明朗さ、興味の拡大、職員、他児との融れあいが芽生えつつあることが認められてきたが、遂に帰らぬ人となってしまった。

2) ホスピタリズムの条件分析とその 対策法の究明

国立療養所長良病院

丸尾 正志 横島 晃
清水 敏男

<はじめに>

長良病院筋ジス病棟においては、子どもたちのいわゆるホスピタリズム傾向が強く、病棟生活においても、学校生活においても常時その扱い方が話題になっていた。先輩の研究によると、この傾向についての解釈は種々あり、どの説が本質をついたものかわからないが、現実に毎日接している子どもたちをみると、何らかの手だてを加え、少しでもこの傾向が軽減できたらと思うものである。そこで今回は、学校教育場面での指導内容・配慮面について研究し、DMP教育指導の一側面として考えてみたものである。

<研究の目的>

いわゆるホスピタリズムの傾向を分析し、その原因となっている諸条件を整理し、学校教育場面において、どのような指導の手だてがあるかを実践を通して試み、改善の手がかりを得る。

<対象児>

長良病院養護学校DMP児童・生徒 26名

<研究の方法>

- (1) ホスピタリズムとは
- (2) 長良病院DMP児のホスピタリズム傾向の実状把握
- (3) ホスピタリズム傾向に関する調査・検査の分析・考察
- (4) 改善可能な視点
- (5) 改善究明への手がかり（学校教育場面での活動設定とその分析・考察）

＜方法の具体化 ならびに指導の経過の概要＞

ホスピタリズムについての傾向を正確に把握するために、先輩の研究を参考にした。その中で、入院生活の歪み、それが性格を形成し、ホスピタリズム傾向をより助長しているため、家庭に帰さなくては改善できないという論と、施設・病院などでの扱い、指導方法・内容の改善によって、この傾向はうすらぐという相反した論とは大変参考になった。

また、子どものホスピタリズムの実状把握を日常生活行動の中からあらい出し、分析してみると、この傾向は年少児・新入院児には少なく、入院期間が長期にわたる者ほど顕著であった。このほか、この傾向に関する調査・検査として、①病識調査、②職員に対する意識調査、③性格検査、ほか3項目によって実施し、傾向探求の資料とした。

改善可能な視点としては

- (1) 患児・家族・病棟・学校職員との濃厚な接触、または、これらの合同接触面をできるだけ多くもち、特に家族とのつながりを意識づける。
- (2) 経験生活（特に人間関係）を多くもち社会性を促進する。をあげ、

改善究明への手がかりとして、前述の二点を改善要素として、具体的には、「意欲の喚起」「対人関係の拡大」「経験の拡大」をできるかぎりの学校教育場面で設定し、実践・つみ重ねをしてきた。

＜ま と め＞

DMP児の教育理念をふまえ、学習指導の重点を考えると、現在そのものを大切にする「生きがい教育」、即ち、人とのふれあい、経験のつみ重ね、それにともなう意欲の養成こそ、DMP教育でもあり、このことが、ホスピタリズム傾向を改善・緩和・軽減していき、子どもたちの日常生活の中にうるおいを持たせるものであることを実践から反省・痛感させられた。

↓
検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります
↓

<はじめに>

長良病院筋ジス病棟においては、子どもたちのいわゆるホスピタリズム傾向が強く、病棟生活においても、学校生活においても常時その扱い方が話題になっていた。先輩の研究によると、この傾向についての解釈は種々あり、どの説が本質をついたものかわからないが、現実には毎日接している子どもたちをみると、何らかの手だてを加え、少しでもこの傾向が軽減できたらと思うものである。そこで今回は、学校教育場面での指導内容・配慮面について研究し、DMP教育指導の一側面として考えてみたものである。